

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.04.No248

4月号

## 目次

会長あいさつ	1
特集 平成30年 定時総会報告	2
道士会の動き	4
Coffee Break	5
一級免許交付式	6
まちづくり会議報告	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>



## 会長あいさつ

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

今年は、例年になく寒さが厳しい冬であったようですが、ここのところ、やっと春の気配が感じられるようになってまいりました。会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、この度、3月20日に開催されました定時総会、その後の理事会において会長に選出されましたので紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

いまだ建築界は、技術力の低下、技術の継承、後継者の育成などの解決の糸口が見えない状況にあり、国の働き方改革と相まって、働く環境の整備が喫緊の課題となっております。そんな中、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築家協会、日本建設業連合会の要望等により、設計監理業務報酬の基準となる告示15号の改正が今進められております。これは、まさに設計に携わる建築技術者の働く環境に直接関わることであり、今後の動きを注視していきたいと考えております。

一方、私たちがかつて経験したことの無い人口の減少、そして少子高齢社会に突入したいま、本会では、毎年、一定数の入会者がいるにもかかわらず、会員構成における団塊世代の比率の大きさ、建設業の経済的規模の縮小などによる影響のため、会員の増加にまで至っていないのが現状であります。それは、会費が収入の大半を占める本会の運営にも大きく影響し、事業の見直しも視野に入れなければならない状況にあります。

今年は、平成22年から皆様のご意見を伺いながら、全支部の合意のもとで進められた新法人への移行が完結する年であります。

それは、今から9年ほど前の平成20年12月1日に公益法人制度改革三法が施行されたことから始まりました。既存の公益法人は、平成25年11月30日までに新たな公益法人または一般法人に移行するか、若しくは解散する等の対応を求められ、本会では、数

年にわたる各支部での協議を経て、平成23年通常総会において、一般社団への移行ということで承認をいただき、翌年、平成24年通常総会で、定款、規則等の改正を行ったところであります。移行の手続きにあたっては、支部と本部との連結決算は勿論のこと、新法人移行時の公益目的財産額を公益目的事業の支出によって零とすることになっており、本会では、各支部のご協力のもと公益目的財産額を確定し、6ヶ年で零とする平成25年から平成30年12月末までの公益目的支出計画を策定したところであります。それらすべての手続きを終え、本会は、平成25年1月4日、社団法人から一般社団法人北海道建築士会としてスタートいたしました。6ヶ年計画としたこの公益目的支出計画については、おかげさまで、計画より1年早く平成29年度で達成し、このことにつきましては、今年3月の定時総会において承認されたところです。この後は、本会が公益目的支出計画実施完了の確認を受けた時点で、新法人移行に関する手続きはすべて完了したことになり、名実ともに一般社団法人となります。

この節目を契機として、会員の皆様に、本会の健全な運営はもとより、地域での支部の求心力の回復、ポジションの確立を第一義的にとらえた本会のブランドデザインを提示できればと考えております。今年度は、常務理事を中心としたWGを設置し、本会の抱える様々な課題の抽出、検討を行うとともに、この先10~20年を見据えた本会の進むべき道、姿を皆様方のご意見を聞きながら、しっかりと構築していきたいと思っております。そして、そのことに沿った定款、規則の改正等々についても検討を進めていく予定であります。どうか、皆様のお力添えをお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

## 平成30年(一社)北海道建築士会定時総会報告

# 定時総会開催 高野会長続投で5期目へ、役員改選により5名の理事が新任

日 時：平成30年 3月20日(火) 14時30分～17時00分  
 会 場：ホテル札幌ガーデンパレス 2F 丹頂  
 (札幌市中央区北1条西6丁目)

出席者：代議員 35名中 32名出席  
 議 事

事務局より代議員の過半数が出席していることを報告し、総会の開催宣言の後、金子ゆかり氏(釧路支部)が議長に選出され、また、議事録署名人として、内海純一氏(札幌支部)と歳桃勝幸氏(恵庭支部)が選出された後、理事者側から第1号・第2号・第3号議案の提案及び説明があり、逐次審議を行った結果、いずれも原案どおり可決されました。また、今年は役員改選期であるため第4号議案で提案し、理事21名と監事2名が選出されました。

事務局



### 議 案

- [議案第1号] 平成29年 一般会計事業報告及び収支決算
- [議案第2号] 平成29年 特別会計事業報告及び収支決算
- [議案第3号] 平成29年 全国大会特別会計事業報告及び収支決算
- [議案第4号] 役員改選

議案第1号～3号の主だった内容は以下のとおり

#### ◆平成29年 一般会計事業報告

##### 『委員会所管事項』

##### ◎ 総務委員会

- ・組織運営の適正化等に係る対応
- ・関係機関との意見交換会等の実施
- ・建築関係団体との連携
- ・専攻建築制度等に関する事項  
 申請(新規)：3名 3領域、(更新)19名 24領域  
 必要に応じ評議会等開催
- ・建築士会継続能力開発(CPD)制度の促進  
 CPD参加登録者 857名  
 CPDプログラム評議会及び同部会の開催等  
 第42回全道大会(後志大会)  
 第60回建築士会全国大会(京都大会)  
 表彰の実施、赤レンガ建築賞への共催等

##### ◎ 事業委員会

- ・「防水セミナー」5会場開催(協賛)145名
- ・「既存住宅状況調査技術者講習会」  
 (新規)7会場開催 267名 (移行)4会場 107名
- ・「杭基礎の正しい設計・施工講習会」6会場開催 96名
- ・「総合図作成ガイドライン解説講習会」札幌市開催 13名
- ・「中大規模木造設計セミナー」札幌市開催 36名
- ・建築技術講習会テキストの在庫販売
- ・支部事業の活性化に向けた支援事業の検討

##### ◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(233号～244号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全道大会分科会「北海道建築士号外」発行

##### ◎ まちづくり委員会

- ・「第5回まちづくりフォーラムin名寄」名寄市開催 52名
- ・「高校生建築デザインコンクール」の実施
- ・「高校生建築甲子園」1校1作品(札幌工業高校)
- ・北海道景観整備機構の運営
- ・「景観まちづくり塾」札幌市開催 38名
- ・全道大会分科会の実施

##### ◎ 青年委員会

- ・「全道青年委員会連絡会議」札幌市開催 70名
- ・「青年建築士の集い」苫小牧市開催 73名
- ・ブロック協議会活動4ブロック協議会会議 計12回開催
- ・「青年サミット(全道大会前夜祭)」ニセコ町開催 69名
- ・全道大会分科会の実施

- ・社会貢献活動「建築士の日のイベント」建築のお仕事体験等  
 札幌市開催 一般市民 1,350名  
 その他 3会場開催 一般市民 215名

##### ◎ 女性委員会

- ・各ブロック活動 勉強会・見学会等の開催を支援
- ・「女性建築士の集いinニセコ」の開催 参加者 22名
- ・全道大会分科会の実施
- ・「地域における住教育実践推進事業業務」の実施  
 ①「建築士による家庭科住教育出張講座」16校実施  
 ②「建築士・教諭向けセミナー」2会場開催 25名

##### ◎ 被災地応急支援委員会

- ・被災地応急支援ネットワークの構築
- ・応急危険度判定地区協議会への協力
- ・応急危険度判定訓練への参加 帯広市 8名(会員)
- ・机上訓練の実施 上富良野支部 26名 小樽支部 27名
- ・HUG講習会の開催 日高支部 31名
- ・防災読本の作成

##### ◎ 会員増強特別委員会

- ・建築士試験合格者セミナー・免許交付式の実施  
 参加者 一級 25名、二級・木造 24名

##### ◎ ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・「北海道ヘリテージマネージメント育成講座」  
 修了者 ヘリテージマネージャー 18名  
 ヘリテージコーディネーター 8名

##### 『事務局所管事項』

- ・一級、二級、木造建築士試験の実施

試験種別	合格者(名)	合格率(%)	
		北海道	全国
二級	167	18.5%	24.3%
木造	1	9%	46.1%
一級	69	7.1%	10.8%

- ・一級、構造・設備設計一級建築士登録等の業務  
 新規 84件 事項変更等 191件 名簿閲覧 67名
- ・二級・木造建築士登録等の業務  
 新規 117件 事項変更等 196件 名簿閲覧 19名
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 2,646名
- ・応急危険度判定士認定講習会 16会場開催 受講者 556名
- ・建築士定期講習 13会場開催 受講者 844名
- ・監理技術者講習の開催 7会場開催 受講者 80名
- ・「第50回建築基準法講習会」開催  
 全道 19ヶ所：受講者 1,245名
- ・ドライクリーニング工場調査の協力

#### ◆特別会計事業報告

- ・事業募集・採択・連合会活動センターへの申請  
 応募及び審査・採点 2団体2事業 助成  
 「旧絵鞆小活用プロジェクト」(室蘭支部)  
 「こども食堂 秋まつり(仮)」(函館支部)

◆全国大会特別会計事業報告

- ・実行委員会の開催（函館市 2回開催）
- ・大会テーマ（メイン・サブ）の募集・決定  
メインテーマ：Re+（リクロス）  
サブテーマ：みらい 明日のまちに輝きを
- ・第60回京都大会参加・視察

◆監査報告

- ・各事業報告及び収支決算（案）について、松崎監事（札幌支部）による監査報告が行われた。

◆平成29年収支決算報告

貸借対照表

平成29年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	62,103,892	59,161,768	2,942,124
受取手形			0
未収会費	0	35,000	△ 35,000
未収金	2,912,843	3,215,984	△ 303,141
前払金	1,301,856	727,594	574,262
貯蔵品	1,006,010	1,106,964	△ 100,954
立替金	372,974	295,580	77,394
前払費用	321,089	330,185	△ 9,096
			0
流動資産合計	68,018,664	64,873,075	3,145,589
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	7,730,379	7,229,768	500,611
財政調整積立預金	43,560,708	45,795,914	△ 2,235,206
大会積立資産	0	0	0
特定資産合計	51,291,087	53,025,682	△ 1,734,595
固定資産合計	51,291,087	53,025,682	△ 1,734,595
資産合計	119,309,751	117,898,757	1,410,994
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	373,578	1,097,118	△ 723,540
未払費用	3,424	82,976	△ 79,552
前受金	5,462,880	6,024,801	△ 561,921
前受会費	19,627,200	19,077,200	550,000
預り金	1,742,397	1,439,820	302,577
短期借入金			0
流動負債合計	27,209,479	27,721,915	△ 512,436
2. 固定負債			
長期借入金	46,694	0	46,694
退職給付引当金	7,730,379	7,229,768	500,611
預り出資金	0	0	0
固定負債合計	7,777,073	7,229,768	547,305
負債合計	34,986,552	34,951,683	34,869
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産合計			
負担金	△ 1,500,000	△ 1,500,000	0
寄付金	50,000	50,000	0
指定正味財産合計	50,000	50,000	0
一般正味財産	84,273,199	82,897,074	1,376,125
（うち基本資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(43,560,708)	(45,795,914)	△ 2,235,206
正味財産合計	84,323,199	82,947,074	1,376,125
負債及び正味財産合計	119,309,751	117,898,757	1,410,994

正味財産増減計算書

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会 費 取 益	64,944,800	65,871,860	△ 927,060
事 業 取 益	24,410,431	24,983,422	△ 572,991
受 託 取 益	24,595,720	19,518,085	5,077,635
助 成 金 取 益	6,843,318	5,860,310	983,008
退職給与引当金戻入	0	0	0
受 取 補 助 金 等	0	0	0
雑 収 取 益	28,518,877	29,420,531	△ 901,654
経常収益計	149,313,146	145,654,208	3,658,938
(2) 経常費用			
事 業 費	117,730,910	113,774,508	3,956,402
講 習 会 等 費	4,816,290	5,744,178	△ 927,888
二級・木造建築士登録等業務費	806,405	816,606	△ 10,201
継続能力開発制度費	340,345	371,332	△ 30,987
専攻建築士制度費	158,949	233,315	△ 74,366
そ の 他 事 業 費	3,612,114	3,377,288	234,826
広 報 ・ 情 報 費	6,942,097	6,256,733	685,364
大 会 関 係 諸 費	5,501,278	449,013	5,052,265
委 員 会 活 動 費	11,994,041	12,098,645	△ 104,604
人 件 費	23,513,992	23,172,653	341,339
受 託 事 業 費	8,325,672	6,779,419	1,546,253
助 成 金	3,118,661	667,284	2,451,377
需 要 費	20,520,468	21,298,605	△ 778,137
雑 費	28,080,598	32,509,437	△ 4,428,839
管 理 費	29,705,500	32,787,405	△ 2,253,005
人 件 費	3,913,377	4,072,342	△ 158,965
会 議 費	3,045,240	2,927,212	118,028
旅 費 交 通 費	4,603,312	6,438,049	△ 1,834,737
需 要 費	1,363,997	1,534,092	△ 170,095
対 外 費	2,889,603	2,650,593	239,010
雑 費	21,871	225,677	△ 203,806
連 合 会 費	13,867,800	14,110,240	△ 242,440
支 部 交 付 金	300	829,200	△ 828,900
経常費用計	147,436,410	146,561,913	874,497
評価損益等調整前当期経常増減額	1,876,736	△ 907,705	2,784,441
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,876,736	△ 907,705	2,784,441
2. 経常外増減の部	0		
(1) 経常外収益	0		
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
退職給与引当金繰入	500,611	501,427	△ 816
経常外費用計	500,611	501,427	△ 816
当期経常外増減額	△ 500,611	△ 501,427	816
他 会 計 振 替 額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,376,125	△ 1,409,132	2,785,257
一般正味財産期首残高	82,897,074	84,306,206	△ 1,409,132
一般正味財産期末残高	84,273,199	82,897,074	1,376,125
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	0		
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	84,323,199	82,947,074	1,376,125

◆役員の改選について

任期満了に伴う役員の改選が行われ、平成30年・31年の役員として、理事21名、監事2名が選出された。

同日、総会休憩時に新役員による理事会が開催され、会長・副会長・専務理事が選出された。総会再開後、役員の役職等新しい執行体制について報告された。

◆報告事項

平成29年12月1日開催の平成29年第4回理事会において承認された平成30年一般及び特別会計事業計画及び収支予算について、事務局より主な内容を報告した。

◆東西アスファルト事業協同組合様へ感謝状を贈呈

総会前に平成29年に本会へ200万円の助成金をいただいた東西アスファルト事業協同組合様へ感謝状の贈呈式を行いました。



平成30・31年 (一社)北海道建築士会 役員名簿

役職	支部名	氏名	役職	支部名	氏名	役職	支部名	氏名
会長	札幌	高野 壽世 再任	副会長	札幌	鈴木 基伸 再任	副会長	札幌	久島 正嗣 再任
統括理事	札幌	長谷川敏文 再任	統括理事	函館	山内 一男 再任	統括理事	北見	庵 敏幸 再任
統括理事	旭川	中澤 光夫 再任	専務理事	札幌	石川 淳一 再任	常務理事	札幌	牛田 健一 再任
常務理事	札幌	西岡 誠 再任	常務理事	札幌	針ヶ谷拓己 再任	常務理事	小樽	本間 恵美 再任
理事	恵庭	伊藤 隆英 再任	理事	旭川	斎藤 勝哉 新任	理事	函館	朝倉 友和 新任
理事	札幌	工藤美智子 再任	理事	札幌	小町 美穂 新任	理事	北広島	関川 修司 再任
理事	苫小牧	中原 茂人 新任	理事	十勝	鈴木 徹 再任	理事	名寄	遠藤 光博 新任
監事	札幌	松崎 健児 再任	監事	苫小牧	佐藤 芳則 再任			

道本部の主な会議報告 (3月)

第1回四役会議

〈開催日〉3月5日(月)

〈議題〉

- 1) 平成30年定時総会の運営
- 2) 平成30年第1回理事会議案

第1回理事会

〈開催日〉3月12日(月)

〈議題〉※議題はすべて承認済み

- 1) 平成29年一般会計収支予算の補正及び流用(案)
- 2) 平成29年一般会計事業報告及び収支決算(案)
- 3) 平成29年特別会計事業報告及び収支決算(案)
- 4) 平成29年全国大平成30年一般会計収支予算の補正(案)
- 5) 会特別会計事業報告及び収支状況(案)
- 6) 平成30年定時総会の開催(案)
- 7) (一社)北海道建築士会空知支部長沼分会会費の変更
- 8) 景観整備機構への指定申請
- 9) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)

第1回会員増強特別委員会

〈開催日〉3月12日(月)

〈議題〉

- 1) 建築士免許証明書交付式

第2回理事会

〈開催日〉3月20日(火)

〈議題〉※議題はすべて承認済み

- 1) 会長、副会長、専務理事の選任
- 2) 統括理事及び常務理事の任命
- 3) (一社)北海道建築士会相談役の推薦(案)

道本部の主な行事予定 (4月)

- 6日(金) 建築士試験業務連絡会議
- 7日(土) 第1回情報委員会
- 14日(土) 第1回青年委員会WEB会議

建築士試験関係

申込書は各支部で配布いたします。

配布期間 一級 4月6日(金)～5月14日(月)  
二級・木造 4月2日(月)～4月23日(月)

一級建築士試験

学 科 7月22日(日)  
設計製図 10月14日(日)  
対面受付 札幌市  
5月10日(木)～14日(月) 5日間  
函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市  
5月11日(金)・14日(月) 2日間

二級建築士試験

学 科 7月1日(日)  
設計製図 9月9日(日)  
対面受付 札幌市  
4月19日(木)～23日(月) 5日間  
函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市  
4月20日(金)・23日(月) 2日間

木造建築士試験

学 科 7月22日(日)  
設計製図 10月14日(日)  
対面受付 札幌市  
4月19日(木)～23日(月) 5日間  
函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市  
4月20日(金)・23日(月) 2日間

関係機関等会議参加予定 (4月)

- 17日(火) 日本建築積算協会北海道支部総会意見交換会
- 20日(金) 日本建築士会連合会役員候補選考委員会  
高野会長出席

第8回高校生の「建築甲子園」

北海道札幌工業高等学校 奨励賞を受賞

日本建築士会連合会が主催する第8回高校生の「建築甲子園」にて、北海道予選を突破しました代表校「北海道札幌工業高等学校」は、奨励賞を受賞いたしました。2月28日に同校で行われました賞状伝達式に長谷川統括理事が出席し、選手(生徒)へ賞状を手渡しこれからの活躍にエールを送りました。



奨励賞受け取る  
工藤春希選手(同校3年生)



長谷川統括理事(左)・酒井監督(教諭)(右2人目)・猪股校長(右)

**空知支部**  
(三笠分会)

**三笠高校生レストラン、今夏オープン！**

事務局  
**村岡 瞬**



三笠市は南空知にある町です。明治時代には石炭が北海道内でいち早く採掘され、日本で初の産業鉄道である「幌内鉄道」が誕生し、北海道の開拓・発展を支えてきた歴史のある町でもあります。

そんな三笠市にある北海道三笠高校は、道内唯一、食物調理科のある高校で、学生たちは日々、調理や製菓について学んでいます。そして平成30年に三笠高校生たちの教育研修施設として「三笠高校生レストラン Mikasa Cooking Essor (ミカサ・クッキング・エッソール)」がオープンします。

「Essor」とはフランス語で「飛翔」を意味し、「まちの「たまご」をみんなで育てる。未来へ羽ばたくプロのたまご。地域で大切に育てる、たまごのような施設へ」がコンセプトになっています。

工事期間中の施工業者との打合せでは、学生たちがより利用しやすいように、大人たちが学生たち

のことを考え、様々な意見が交わされました。同時に生徒、学校、教育委員会などからの様々な要求もできる範囲で取り入れようとし、細かい変更を伴いながらも工事が進み、オープンまでもう少しとなりました。

高校生レストランは、調理部の学生が実践を通して調理や接客の技術、店舗経営を学ぶお店「まごころキッチン」、こだわりの焼き菓子やケーキなどを製造・販売・接客する製菓部のカフェ「Cherie (シェリー)」、料理コンクールや料理教室などを開催し、食を深めることができる場として「キッチンスタジアム」で主に構成されます。ショップでは地域の特産品や、高校生が開発に携わった商品などが販売され、イートインスペースではコーヒーやジェラートも提供します。

「まごころキッチン」や「Cherie」内の壁紙や床の素材や色は、調理部と製菓部の高校生たちが自ら選定したものです。雰囲気はそれぞれ異なっているので、訪れた際にはご覧になって下さい。

三笠高校の学生たちは、全国各



高校生レストラン外観 (イメージ)

地で行われているコンクールや大会で何度も賞をとっている実力の持ち主たち。

明治期の北海道や日本の発展を支えた石炭。その石炭が採掘された三笠で学ぶ若者たち。今はまだ「たまご」ですが、やがて孵化し飛翔していく支えとなる施設になると私は信じています。

高校生レストラン (Mikasa Cooking Essor) は平成30年7月22日オープンします。ぜひ一度、訪れてみてください。たまご料理が美味しいかも。

Mikasa Cooking Essor :  
三笠市若草396番地1の内、  
396番地6の内

**札幌支部**

**ビールパーティーはおかげさまで大盛況！**

副支部長  
**菊地 義紀**



「7月1日は建築士の日」ということで札幌支部では恒例になるビールパーティーを開催しております。近年は600名を超える参加をいただいております。同支部の中では一大イベントとなっております。また、去年は25周年という節目の年でもあり、何か記念に残ることを... なんて考えてもみたりしました。

例年、アトラクションでは大人気のフラダンスや地域の若手ミュージシャンを発掘するなどして出演を依頼しております。その中で今回の選抜としては、個人的に通っている飲み屋の女の子がガールズバンドで活動しており、周知するには良い機会だと思い、声をかけました。そして委員会内からは江別の太鼓チームの話があり、更に事務局にはキューバダンスから営業の問い合わせもありました。さてどちらにお願いしましょう？ということを経営委員会で検討した結果、3組全てに出演を依頼することに... 更に恒例のフラダンスともなるとタイムスケジュールの調整が大変でしたが、

5分開場を早めることでなんとか解決です。また、司会者にはローカル番組で有名な青山千景さんをお願いしたのもあり、プロの技で一刻の狂いもなく進行が出来ました。メインの抽選会では「ペアで沖縄旅行」その他、賛助会員企業様からも多くの協賛品を提供頂き、来場者数も617名と大盛況！参加された皆様には大変満足いただける内容だったかと思います。

その反面、反省点も多々あります。アトラクションが多すぎたせいで閉会まで大音量が続き、話し声が聞こえなくて、ホールに避難している方も多く見られました。会場の広さも立食とはいえ600名超えは流石に窮屈を感じてしまいますね。また、会場前ホールでは支部委員会の紹介や専攻建築士等のパネル展示を行い、我々の活動をPRしているところではございますが、もっとインパクトのある手法を考える必要があるのではと感じております。

継続事業にありがちなパターン化していることもあり、参加者を飽きさせない為にも、今一度原点に戻って目的意識を再確認する時期に来ているのかも知れません。

現在このパーティーは札幌支部で実行委員会組織を立ち上げて企

画・運営しておりますが、事の始まりは当時の若き有志達が所属していた青年委員会の熱き想いで主催していたと先輩から伺っております。この灯を絶やさず四半世紀もの間、盛り上げてきたことは大変素晴らしいことです。改めて諸先輩方には敬意を表すると共に、今後は半世紀を目指し、更に盛り上がりに磨きをかけていけるよう、期待をしているところでございます。



集合写真



抽選会の様子、来場者は617名

## 平成29年度 一級建築士免許証明書交付式・祝賀会 新一級建築士 北海道は69名



免許証明書交付式出席者と平向住宅局長（前・右5人目）・高野会長（前・右6人目）

平成29年の一級建築士試験に合格したのは全国で3,365名。合格率は前年の12%を下回り10.8%で、北海道でこの難関な試験に合格したのは69名でした。

北海道建築士会では、2月17日(土)札幌ガーデンパレスにて一級建築士免許証明書交付式を開催し、道内合格者の69名中、遠くは釧路市や北見市からの参加を含め27名の出席がありました。

出席者は、会場に入ってくると「久しぶり、元気？」などと、資格学校のクラスメイトや受験仲間であり、一緒に一級建築士に合格した連帯感等が感じられる会話を交わし、再会を喜びあっている様子を感じられました。

交付式の冒頭に高野会長の挨拶があり、合格の祝辞とともに一級建築士としての責任について述べられ、新一級建築士の出席者を激励されました。

続いて北海道建築士会長谷川敏文統括理事・札幌支部長を講師として「新建築士セミナー」が開催されました。セミナーは二部構成で第一部は「倫理編」、休憩をはさんで第二部では「実務編」を受講されていましたが、新一級建築士のみなさんは真剣に話を聞いているのが印象的でした。

新建築士セミナーの後は会場を変えまして、一級免許証明書を高野会長より一人一人に授与

されました。続いて平向北海道建設部住宅局長よりご祝辞をいただき、その後の祝賀交流会では、都合により数名が欠席したものの、20名以上の参加があり、和やかな雰囲気の中で懇親を深めたようです。また、青年委員会による余興で、参加者たちは大いに盛り上がりました。

最後に、建築士会の活動をPRし、閉会となりました。（情報委員会委員 熊谷 智）



新建築士セミナー講師 長谷川統括理事



一級建築士免許証明書の授与



祝賀交流会の様子

## 北海道建築士会 まちづくり会議

### 「まちづくり活動のコレカラ」 ～防災／歴史／景観／街中(空き家)／福祉～

まちづくり委員長 針ヶ谷拓己

#### 〈開催経緯〉

日本建築士会連合会では昨年、まちづくり活動の質の向上を目指し、防災／歴史／景観／街中(空き家)／福祉という5つのまちづくり部会が発足しました。こうした中、北海道建築士会では、この5分野について、すでに各委員会で取り組まれており、防災については被災地応急支援委員会、歴史はヘリテージマネージャー特別委員会、景観と街中(空き家)はまちづくり委員会、そして福祉については女性委員会が担当することとしています。さまざまな課題等もあり、今後の活動展開を模索している状況であります。

「北海道建築士会 まちづくり会議」は、北海道における上記まちづくり分野の取組み状況や課題について、行政等と建築士会が情報共有を図るとともに、これからのまちづくり活動をどのように展開すべきかを考えるため、開催することとなりました。



公開ディスカッションの様子

#### 〈まちづくり会議〉

「北海道建築士会 まちづくり会議」は、平成30年2月24日(土)、札幌の大通公園ビル(通称：ヤクルトビル)にて開催され、まちづくり行政の方々、まちづくりに関わる各実行委員会委員、まちづくりに興味のある会員など43名の参加者にて、①全国まちづくり委員長会議の報告 ②公開ディスカッション ③グループ討議 が行われました。

“全国まちづくり委員長会議の報告”では、まちづくり委員会の清水副委員長より、まちづくりを5

分野にタテ割りすることに違和感をもっていましたが、5分野についてそれぞれ横の連携をとりながら展開していくことで部会活動の意義を感じたことと、それを具現化していくには行政との連携が極めて重要ではないかという報告がありました。

“公開ディスカッション”では、5分野に関わりの深い行政のみなさま【防災】北方建築総合研究所戸松主任／【歴史】小樽市まちづくり推進課 中西課長／【景観】北海道都市計画課 寺谷主査／【空き家】北海道建築指導課 清水主幹／【福祉】本別町総合ケアセンター 木南所長補佐 より、その取り組みや課題、建築士(会)に担ってほしい役割などの貴重な話を伺いました。印象的だったのは、行政としては技術職員が不足しており、初動の応急危険度判定や、特定空き家の判定などに、建築士会のマンパワーが必要であるという切実なお話しでした。

一方、連合会まちづくり部会委員のみなさま 防災まちづくり部会 牛田委員／歴史まちづくり部会 関川委員／景観及び街中(空き家)まちづくり部会 針ヶ谷委員／福祉まちづくり部会 本間委員 からは、各部会の活動計画等や、その計画に関わる北海道での委員会活動について報告いただきました。内容としては、各まちづくり部会の活動計画に対して北海道の活動達成状況が低く、今後の検討が必要であること。また、歴史的建築物の活用促進に向けた建築基準への取組みについて、今後、行政と連携していきたい旨の報告もありました。

“グループ討議”では、防災／歴史／景観／空き家／福祉の5テーブルに分かれ、①行政と建築士会の連携 ②まちづくり活動のコレカラ を議題に、行政の方々や部会委員を参加者が囲み、ざっくばらんに、そして、賑やかに、意見交換が行われました。



#### 〈最後に〉

北海道建築士会の各実行委員会では、とても活発に活動が行われています。ただ、それはタテ割り組織であり、他委員会との情報共有がなされていません。「まちづくり」をテーマに、各委員会を横断する組織ができれば、情報共有が進み、さらに幅の広い活動が展開できるのではないのでしょうか。

## CPD認定プログラム(3月認定)

認定プログラムはありませんでした。

## 実務に役立つ建築法規解説2017 販売のご案内

平成30年1月～2月に開催の第51回建築基準法講習会で使用しましたテキストを販売中です。

販売予定数に達した時点で終了となりますので、お早めにお求めください。



**実務に役立つ  
建築法規解説2017**  
編集＝全道建築行政連絡会議  
.....  
第51回  
建築基準法講習会テキスト  
◎A5判 ◎定価：3,500円

※送付希望の方へは書籍を、送料着払で発送しておりますので、FAXにてお申込ください。なお、請求書は別途郵送いたします。

(申込用紙は北海道建築士会のホームページからダウンロードできます。)

【図書問合せ先】(一社)北海道建築士会 011-251-6076

## 平成30年 専攻建築士認定状況

3月26日(公社)日本建築士会連合会専攻建築士認定評議会にて、下記の通り認定されました。

更新申請 14名(14領域)

専攻建築士総数(北海道) 143名(168領域)

※平成31年専攻建築士申請受付は、平成31年1月4日～2月28日を予定しています。

## 講習会のご案内

### 平成30年監理技術者講習(4月～9月)

【札幌会場】	4月18日	5月23日	6月22日
	7月25日	8月24日	9月19日
【旭川会場】	6月25日		
【函館会場】	5月17日	7月19日	9月20日

### 既存住宅状況調査技術者講習

【新規講習】	【苫小牧会場】	4月12日	【旭川会場】	4月26日
	【札幌会場】	5月21日	【函館会場】	5月22日
	【北見会場】	5月23日		
【移行講習】	【札幌会場】	4月27日		

上記講習会、詳細は(一社)北海道建築士会HPをご覧ください。どちらもWEBでのお申込みができます。

### 平成30年第1期・2期建築士定期講習

【札幌会場】 5月17日 8月30日・【旭川会場】 5月25日

詳細は、同封の案内書または(一社)北海道建築士会HPをご覧ください。WEBでの申込みができます。

## 平成30年 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

### 応募対象

- ①対象建物 平成26年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

### 所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

### 応募締切

平成30年5月18日(金) 必着

### 応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 函面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書をCD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

### 作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.253」に掲載します。※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。



昨年の作品

## 編集後記

雪解けが進み、ようやく春の足音が近づいてきた今日この頃ですが、4月から新生活が始まっている会員の方も多いのではないのでしょうか。

先日、一級建築士免許証交付式・祝賀会を取材しましたが、資格を手に入れた喜びと責任感にあふれる新一級建築士の様子に、昔、自分も合格した時のことを思い出しました。

今月号には1・2級建築士試験の日程も記載されていますが、多くの合格した新建築士が、建築士会会員の仲間に入ってくれるよう頑張りたいと思います。

情報委員会 熊谷 智(苫小牧支部)

情報委員会委員長/斎藤 勝哉  
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁  
委員/熊谷 智・柏倉 晶憲  
村山 賢司・片岡 哲二

### 北海道建築士 No.248号

印刷 平成30年3月/発行 平成30年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011)251-6076番  
URL http://www.h-ab.com/

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011)811-7151番